

2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東  
 コード番号 2820 URL http://www.yamami.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 徹  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)六車 祐介 (TEL)0848(86)3788  
 定時株主総会開催予定日 2023年9月28日 配当支払開始予定日 2023年9月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の業績(2022年7月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	16,178	17.1	1,039	15.2	1,061	17.5	802	32.3
2022年6月期	13,811	—	902	23.2	903	21.0	606	18.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	115.18	—	10.1	7.8	6.4
2022年6月期	87.06	87.04	8.1	6.7	6.5

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 一百万円 2022年6月期 一百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年6月期の売上高の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	13,814	8,289	60.0	1,189.80
2022年6月期	13,414	7,685	57.2	1,101.71

(参考) 自己資本 2023年6月期 8,289百万円 2022年6月期 7,675百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	2,155	△946	△966	404
2022年6月期	2,184	△846	△1,426	160

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	—	13	—	13	26	181	29.9	2.4
2023年6月期	—	14	—	18	32	222	27.8	2.8
2024年6月期(予想)	—	19	—	19	38		32.5	

(注) 2024年6月期(予想) 第2四半期末配当金と期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当(創業50周年記念配当) 1円00銭

3. 2024年6月期の業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,900	13.5	600	19.0	601	15.4	408	15.9	58.56
通期	17,800	10.0	1,200	15.5	1,202	13.3	815	1.6	116.98

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期	6,967,500株	2022年6月期	6,967,500株
② 期末自己株式数	2023年6月期	240株	2022年6月期	205株
③ 期中平均株式数	2023年6月期	6,967,279株	2022年6月期	6,967,295株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けてきましたが、同感染症の分類が「5類感染症」に移行され行動制限の緩和やインバウンド需要回復により、ようやく景気の回復や経済活動の正常化が期待される環境となりました。しかし一方では、ウクライナ情勢に起因する原油価格や原材料価格の高騰、急速な円安の進行などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属します食品製造業におきましては、原材料価格の高騰や原油高による包装資材や物流費など各種コストの大幅な上昇に加え、円安の影響も重なって経営環境は一段と厳しい状況となり、各企業は価格改定を行い、消費者の節約意識は高まっております。

このような状況のもと、当社は合理化、省エネルギー、品質向上のため継続的かつ積極的な設備投資を行うとともに、全従業員を対象に「改善提案活動」を実施し、全工場でコスト削減に取り組んでおります。また、各販売先様には、納入価格の改定をお願いし実施させて頂いておりますが、製品製造における急激な仕入れ単価上昇分をすべて転嫁するまでには至っておりません。引き続き省エネルギー・ローコスト運営の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいります。

以上の結果、当事業年度の業績は、国内産大豆を使用した製品の販売が好調で、売上高は16,178百万円と前年同期と比べ2,366百万円(17.1%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は1,039百万円と前年同期と比べ136百万円(15.2%)の増益、経常利益は1,061百万円と前年同期と比べ158百万円(17.5%)の増益、当期純利益は農林水産省補助事業である「輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業」の補助金収入もあり、802百万円と前年同期と比べ195百万円(32.3%)の増益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末と比較して399百万円増加し、13,814百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して659百万円増加し、2,807百万円となりました。これは主に現金及び預金が243百万円、売掛金が349百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して259百万円減少し、11,006百万円となりました。これは主に減価償却により建物が170百万円減少したこと等によるものです。

#### (負債の部)

当事業年度末における総負債は、前事業年度末と比較して204百万円減少し、5,524百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して333百万円増加し、3,151百万円となりました。これは主に買掛金が351百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して538百万円減少し、2,373百万円となりました。これは主に長期借入金が502百万円減少したこと等によるものです。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比較して604百万円増加し、8,289百万円となりました。これは主に当期純利益802百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して243百万円増加し、404百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、2,155百万円(前事業年度は2,184百万円の収入)となりました。

これは、収入要因として税引前当期純利益1,216百万円、減価償却費1,484百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、946百万円（前事業年度は846百万円の支出）となりました。  
これは主に、設備更新に伴う、有形固定資産の取得による支出1,090百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、966百万円（前事業年度は1,426百万円の支出）となりました。  
これは主に、短期借入金の純増減額200百万円、長期借入金の返済による支出550百万円等があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率 (%)	48.2	45.6	53.1	57.2	60.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	140.6	108.0	99.2	92.9	66.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.8	4.4	1.7	1.6	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	68.5	54.4	127.9	117.7	105.1

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注 1) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注 2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しに関しては、新型コロナウイルス感染症の5類への引下げにより企業活動の活発化が見込まれますが、為替の変動やロシア・ウクライナ情勢によるエネルギーや原材料価格の高止まり、人件費や物流コスト上昇などに伴う業績への影響などが続くものと推測されます。

このような状況下におきまして当社は、設備投資による製造原価の低減と品質向上を継続的に図り、一般消費向け各種豆腐・厚揚げ等を安定的に供給していくこと等により、安定的な企業成長を目指す所存であります。また、国内最大規模の市場である関東地域への進出のために新設した富士山麓工場を中心に、積極的な営業展開を図り、販路拡大に努める所存であります。

以上に基づき次期の業績につきましては、売上高17,800百万円（前事業年度比10.0%増）、営業利益1,200百万円（同15.5%増）、経常利益1,202百万円（同13.3%増）、当期純利益815百万円（同1.6%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当事業年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	160,848	404,480
売掛金	1,594,643	1,944,119
商品及び製品	55,703	74,862
原材料及び貯蔵品	282,653	370,177
その他	54,315	14,275
流動資産合計	2,148,165	2,807,916
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,750,192	5,833,166
減価償却累計額	△1,959,534	△2,213,382
建物(純額)	3,790,657	3,619,784
構築物	764,247	768,547
減価償却累計額	△468,933	△498,253
構築物(純額)	295,313	270,294
機械及び装置	14,732,192	15,767,175
減価償却累計額	△9,859,250	△11,047,087
機械及び装置(純額)	4,872,941	4,720,088
車両運搬具	39,318	49,942
減価償却累計額	△35,322	△39,202
車両運搬具(純額)	3,996	10,740
工具、器具及び備品	106,800	111,518
減価償却累計額	△82,689	△88,809
工具、器具及び備品(純額)	24,111	22,709
土地	2,126,946	2,126,946
リース資産	67,199	67,199
減価償却累計額	△67,199	△67,199
リース資産(純額)	—	—
建設仮勘定	84,670	167,615
有形固定資産合計	11,198,637	10,938,177
無形固定資産		
ソフトウェア	7,538	4,741
その他	619	619
無形固定資産合計	8,158	5,361
投資その他の資産		
投資有価証券	11,108	10,860
出資金	10	10
長期前払費用	4,469	8,498
その他	43,689	43,315
投資その他の資産合計	59,277	62,684
固定資産合計	11,266,073	11,006,223
資産合計	13,414,238	13,814,140

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当事業年度 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	984,004	1,335,154
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	550,858	502,846
リース債務	23,515	24,229
未払金	583,405	687,384
未払費用	215,392	245,481
未払法人税等	211,051	290,521
未払消費税等	—	11,819
預り金	36,884	41,094
賞与引当金	11,170	11,630
その他	953	983
流動負債合計	2,817,236	3,151,144
固定負債		
長期借入金	2,357,169	1,854,323
リース債務	396,927	372,698
繰延税金負債	116,137	108,522
その他	41,405	37,827
固定負債合計	2,911,638	2,373,371
負債合計	5,728,875	5,524,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,245,724	1,245,724
資本剰余金		
資本準備金	1,218,724	1,218,724
資本剰余金合計	1,218,724	1,218,724
利益剰余金		
利益準備金	7,569	7,569
その他利益剰余金		
圧縮積立金	256,012	248,303
繰越利益剰余金	4,947,890	5,569,982
利益剰余金合計	5,211,472	5,825,855
自己株式	△443	△491
株主資本合計	7,675,478	8,289,813
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	485	△189
評価・換算差額等合計	485	△189
新株予約権	9,398	—
純資産合計	7,685,363	8,289,624
負債純資産合計	13,414,238	13,814,140

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,811,788	16,178,595
売上原価		
製品期首棚卸高	45,921	55,703
当期製品製造原価	10,968,189	12,961,257
合計	11,014,110	13,016,961
製品期末棚卸高	55,703	74,862
製品売上原価	10,958,407	12,942,098
売上総利益	2,853,381	3,236,496
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	1,396,215	1,586,300
広告宣伝費	38,223	39,684
販売手数料	118,085	136,914
給料及び賞与	196,254	191,698
賞与引当金繰入額	1,200	1,710
減価償却費	3,247	2,684
その他	197,417	237,907
販売費及び一般管理費合計	1,950,644	2,196,900
営業利益	902,737	1,039,596
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	134	167
助成金収入	15,845	12,559
自動販売機収入	4,906	4,823
スクラップ売却収入	1,630	2,745
保険金収入	—	20,976
その他	2,968	2,559
営業外収益合計	25,487	43,834
営業外費用		
支払利息	18,569	20,510
支払手数料	2,945	—
その他	3,550	1,549
営業外費用合計	25,066	22,059
経常利益	903,158	1,061,371
特別利益		
補助金収入	—	145,232
新株予約権戻入益	164	9,398
特別利益合計	164	154,630
税引前当期純利益	903,322	1,216,002
法人税、住民税及び事業税	308,120	420,820
法人税等調整額	△11,363	△7,318
法人税等合計	296,756	413,501
当期純利益	606,566	802,500



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2021年7月1日 至2022年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,245,724	1,218,724	1,218,724	7,569	276,035	4,495,483	4,779,088
当期変動額							
剰余金の配当						△174,182	△174,182
当期純利益						606,566	606,566
圧縮積立金の取崩					△20,023	20,023	—
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	△20,023	452,407	432,383
当期末残高	1,245,724	1,218,724	1,218,724	7,569	256,012	4,947,890	5,211,472

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△443	7,243,094	18	18	9,562	7,252,675
当期変動額						
剰余金の配当		△174,182				△174,182
当期純利益		606,566				606,566
圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得		—				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			467	467	△164	303
当期変動額合計	—	432,383	467	467	△164	432,687
当期末残高	△443	7,675,478	485	485	9,398	7,685,363

当事業年度(自2022年7月1日 至2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,245,724	1,218,724	1,218,724	7,569	256,012	4,947,890	5,211,472
当期変動額							
剰余金の配当						△188,116	△188,116
当期純利益						802,500	802,500
圧縮積立金の取崩					△7,708	7,708	—
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	△7,708	622,092	614,383
当期末残高	1,245,724	1,218,724	1,218,724	7,569	248,303	5,569,982	5,825,855

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△443	7,675,478	485	485	9,398	7,685,363
当期変動額						
剰余金の配当		△188,116				△188,116
当期純利益		802,500				802,500
圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得	△48	△48				△48
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△675	△675	△9,398	△10,073
当期変動額合計	△48	614,334	△675	△675	△9,398	604,260
当期末残高	△491	8,289,813	△189	△189	—	8,289,624

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	903,322	1,216,002
減価償却費	1,621,253	1,484,301
賞与引当金の増減額(△は減少)	△310	460
受取利息及び受取配当金	△137	△170
支払利息	18,569	20,510
新株予約権戻入益	△164	△9,398
補助金収入	—	△145,232
保険金収入	—	△20,976
売上債権の増減額(△は増加)	△48,384	△349,476
棚卸資産の増減額(△は増加)	△49,252	△106,683
仕入債務の増減額(△は減少)	139,804	351,150
未払金の増減額(△は減少)	10,133	△25,939
未払又は未収消費税等の増減額	△212,866	56,744
その他	△18,165	28,825
小計	2,363,803	2,500,117
利息及び配当金の受取額	137	170
保険金の受取額	—	20,976
利息の支払額	△18,422	△20,685
法人税等の支払額	△160,768	△344,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,184,748	2,155,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	55,072	—
有形固定資産の取得による支出	△899,826	△1,090,626
無形固定資産の取得による支出	△965	△500
投資有価証券の取得による支出	△695	△723
補助金の受取額	—	145,232
その他	△86	487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△846,502	△946,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△838,208	△550,858
自己株式の取得による支出	—	△48
リース債務の返済による支出	△13,977	△27,093
配当金の支払額	△174,159	△188,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,426,345	△966,087
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△88,098	243,631
現金及び現金同等物の期首残高	248,947	160,848
現金及び現金同等物の期末残高	160,848	404,480

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、豆腐等製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	1,101.71円	1,189.80円
1株当たり当期純利益金額	87.06円	115.18円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	87.04円	—円

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	606,566	802,500
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	606,566	802,500
普通株式の期中平均株式数(株)	6,967,295	6,967,279
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,590	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	2017年9月27日取締役会決議に基づ く新株予約権については、2022年9 月27日をもって権利行使期間満了に より失効しております。

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、当事業年度は潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。